

藤島民報

2013年 8月11日

第909号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい(月200円程度)
8月 19人 15,650円
7月 33人 36,350円

民報藤島900号記念の集い

民報藤島は900号を超えました。読者の皆さんに支えられ、週刊発行で18年が経過しました。900号を記念し、下記の通り集いを開催します。どなたでも参加できます。

期日：8月31日(土) 午後2時～4時
場所 藤島駅前町内会館
会費 男1,000円 女500円

連絡先：事務局 成田忠一(090-7323-5144)

国保 単年度収支と財源保留額(基金+繰越金)

| | 単年度収支 | 財源保留額 |
|----------|-----------|-----------|
| 17年度末 | ▲1182万円 | 14億5305万円 |
| 18年度末 | 2億0812万円 | 16億6118万円 |
| 19年度末 | 8437万円 | 17億4555万円 |
| 20年度末 | 2億2282万円 | 19億6838万円 |
| 21年度末 | ▲1億0466万円 | 18億6371万円 |
| 22年度末 | ▲4億5072万円 | 14億1298万円 |
| 23年度末 | ▲4億6397万円 | 9億4901万円 |
| 24年度末 | ▲2億8155万円 | 6億6746万円 |
| 25年度末見込み | ▲1億0534万円 | 5億6212万円 |
| 26年度末見込み | ▲3687万円 | 5億2525万円 |
| 27年度末見込み | 2923万円 | 5億2817万円 |

(25年度末見込み以降は特別調整交付金特別事情分1億6100万円(24年度)を見込まない。)

鶴岡市国保税収納率の推移(%)

| | 現年 | 滞繰 | 計 |
|------|-------|-------|-------|
| 17年度 | 92.35 | 9.45 | 74.86 |
| 18年度 | 92.52 | 10.45 | 74.60 |
| 19年度 | 92.19 | 12.40 | 73.31 |
| 20年度 | 91.18 | 12.98 | 67.41 |
| 21年度 | 90.62 | 11.02 | 66.45 |
| 22年度 | 91.36 | 12.38 | 65.25 |
| 23年度 | 91.71 | 13.51 | 65.50 |
| 24年度 | 92.03 | 15.07 | 67.85 |

☆平成20年度に75歳以上の高齢者が後期高齢者医療制度に移行。
☆23年度税率統一

25年度の国保税は、医療分が1人当たり1万580円、14.3%引き上げが共産党除く

値上げ過大だった

国保税は23年度に統一され、24年度は医療分が据置き、後期高齢者支援分(1人当たり平均1713円)と介護納付分(同4220円)が引き上げされました。

国保加入者は7月2日(本算定日)で2万478世帯(△334世帯)、3万6287人(△865人)と減少傾向です(23年度は△263世帯、△1041人)。

介護分引き上げ

24年度は支援分・介護分引き上げ
鶴岡市国保運営協議会(佐藤信雄会長、委員16人)の第1回会議が5日、市役所で開かれ、平成24年度決算などが協議されました。

国保税25年度増税は過大
1人1万2837円
17.3%増

鶴岡市国保運営協議会

国保税滞納額の推移と1人当たり国保税調定額(医療分・一般)の推移

| | 滞納額 | 1人当たり国保税(医療分・一般) | 国保税の改正 |
|-------|-----------|------------------|--------------------------|
| 17年度末 | 12億2164万円 | 5万9488円 | |
| 18年度末 | 13億3138万円 | 6万5521円 | 合併後初の値上げ、限度62万円 |
| 19年度末 | 14億2474万円 | 6万5936円 | 羽・温の介護分値上げ、限度65万 |
| 20年度末 | 14億3643万円 | 7万0756円 | 後期高齢者医療発足、介護分統一、限度68万円 |
| 21年度末 | 15億0431万円 | 7万2242円 | 限度69万円 |
| 22年度末 | 14億9781万円 | 6万8877円 | 限度73万円 |
| 23年度末 | 14億4857万円 | 6万8489円 | 税率統一・介護分1919円引き上げ、限度77万円 |
| 24年度末 | 13億8091万円 | 7万4156円 | 後期支援金1713円・介護分4220円引き上げ |
| 25年度末 | | 8万6993円 | 医療分10,580円、14.3%引き上げ |

(H20以降は医療分+後期高齢者医療支援分)

赤字幅が縮小

24年度決算の単年度収支は△2億8155万円、2年連続4億円超の赤字幅が縮小され、24年度末の財源保留額(基金+繰越金)は6億6746万円となりました。

国保税の収納率は、

7月31日現在で資格証4世帯(前年度4世帯)、短期保険証883世帯(同853世帯)、高校生以下の子ども対象に6ヶ月の短期保険証交付は147世帯252人(同143世帯242人)となっています。

国保税滞納に対し、8月19日に滞納者審査会をおこなって、5期以上の滞納に3ヶ月の短期保険証、1年以上に資格証明書の交付を進め、正規保険証の取り上げは大きな問題です。

賛成多数で可決(3月議会)。
7月2日現在の調定額でみると、24年産米の仮渡金2000円増などの影響もあり、医療で1人当たり6万2963円で、24年度(5万6477円)と比べ1万2316円、24.3%増(支援分含め1万2837円17.3%増)となり、党市議団が指摘していたように値上げ幅が過大だったことが明らかです。

現年課税で92.03%、滞納分で15.07%、合計で67.85%となり、2.35ポイント改善し、滞納額は13億8千万円で不納欠損額は9346万円(前年度8400万円)を処分しました。

公取委の農協調査

「競争」迫る攻撃の先にTPP

公正取引委員会が7月30日、庄内5農協に対し、コメの販売手数料で独禁法違反容疑で立ち入り検査をおこないました。

県では5日、「県の検査では手数料の決め方に問題はなく、法令にのっとった取り組みが行われている」との認識を示しました。

全国農協中央会は2006年、グループ全体の定額移行を打ち出し、5農協とも手数料率は2・7%と同率だったのが、米価が暴落した2010年産頃から定額制を検討。

4農協が1俵当たり410円で同額。あまのめ農協が415円。導入時期は庄内みどり鶴岡が12年、他は11年。いずれも組合員座談会で方針を説明し総代会や総会、理事会で決めていきます。

公取委調査の不当性は、「JAにおける米穀の集荷、販売事業は、JA間に競争関係は無く、独占禁止法第22条によって、法的にも認められている事業内容です。」(JAつるおか7月31日付声明)とあるとおりです。

同法第22条は、協同組合を独占禁止法の適用除外とするものです。しかし、2010年4月、行政刷新会議の農業ワーキンググループ会議に、「農協等に対する独禁法適用除外の見直し」が検討項目に上げられ、TPP交渉を推進する安倍総理のもとで、衆参選挙の勝利から、強気の姿勢が出ています。

郵政かんぽ生命では、「公正な競争条件にない」とアメリカから攻められ、麻生太郎氏は「郵政の新たな分野への進出は認めない」と約束し、先日アフラックと日本郵政との提携が発表。アメリカのガン保険が郵便局の窓口で売られ外国企業の利益の餌食とされます。同様に、TPPでは

エンディングノートは葬儀・墓・死に関わることだけでなく、立ち止まり、振り返り、家族を思い、これからを考えるというふうな発展し深まってきた。でもさしあたって葬儀や墓である。その背景に、葬儀が商品化し大型化、高額化、画一化したことがある。「葬社の言われるまま、アレヨアレヨという間に高い葬式になった」「葬儀の意味はどこにあるのか」こんな声があがり「葬儀考」が多様に発展してきた。私は墓も寺もない。子孫が皆この地に還る

エンディングノート(2)

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

農協の仕組みは「不公正競争」に当たると攻撃され、「農協解体」と日本農業がアメリカ多国籍企業の餌食とされる、その前触れが今回の公取委の調査です。

とは限らないなどと先祖代々の墓にも違和感を持ち始めていた。そんな時この5月、山形市の親友E君の死亡通知がきた。「五月十六日死亡しました。私は葬



失言大臣

憲法を変えるのに「あの手口から学んだらどうかね」と言ったんだぜ。ナチスのやったことをダ。誰が誤解ができませんか。具体的で分かり易い話ですぜ。

▼所は改憲推進の集まりだったんでしょ。司会者は改憲では名の知れた女性だったじゃないですか。集まった人が喜ぶ話・望みのある話をしたんですよ。

▼ところが日本だけでなく国際的にも問題になった。国会開会も近い。どうしようもなくなって3日も過ぎてから取り消すことにした。

▼ならば、彼の話に喜んで帰った人はどうなるの。誤解だったら聞いた人が悪いんだから、取り消す必要はないんじゃないですか。

▼大阪市長のあの話の弁明は誰も信じていないでしょうが、彼はメ

儀、告別式、お別れ会等は一切行わず、家族と兄弟のみで火葬・埋葬するよう(中略)固くいいのこしました。(中略)御厚誼をいただきました。心より感謝致します。尚、遺族を宜しく願います。永遠にさようなら。(氏名) これは本人の意思に基づいて、日時を記入し原文のままお伝えするものであります。(御息・奥様名)というものでした。初めてのことで、私も真剣にエンディングと向き合おうという気になった。

ディアが悪いんだと未だに取り消していません。そして麻生の弁護をしていますよ。

▼これも自民党が参院選での勝利を背負っての言動でしょうナ。何がナンデもアメリカの要求に応えたいと、ネジレ解消を機にシヤニム二進める気でしょう。そのアラワレだぜ。

▼戦争をしない国の憲法を変えて国防軍を持ち、命令に従わない者は軍法会議にかけて結果は昔と同じになる、と選挙中に幹事長は言っていたのだ。

▼彼らの内では、憲法を変えることがこまごま具体的なようになっていって、と言えるでしょうが、そんなことになったら日本は国際社会では生きていかれないでしょう。世界中からツマハジキでしょうヨ。

▼そんなことにならない闘いが必要ですが、とりあえずは失言大臣を首にしないとネ。



(画・加藤貞雄)

手植の田 広げ 部落名 小女房

おによぼう

工藤 博司

今は酒田市に合併となったが、旧平田町の、やや山間部に入ったところに「小女房(おによぼう)」という地名の村落がある。

小学校もあり、かつては大きな製材所が操業の音をひびかせていた。今は、青い田んぼから、出穂に移る頃である。米の自由化などの攻勢にもかかわらず、五月に入ればいっせいに田植がはじまる。主力はもちろん田植機だが、

年配の女性たちが、熱心に手植えをしている姿も見られる。この地名の親しさは格別である。

朝日が昇る前から田のあちこちに働く姿を見るのはすがすがしい。くらしを支えられる生産者米価が補償されれば、中山間地は活気を戻すに違いない。

TPP参加への愚挙こそ中止すべきであろう。

(石川)